

国土交通大臣杯

第19回全国・離島交流ゲートボール親善大会

= ゲートボールで、地域間交流 =



開会式での始球式の様子



表彰を受ける連友会（上県町女連）

10月7日、8日、9日の3日間、第19回全国・離島交流ゲートボール親善大会が対馬市で開催され、関東、近畿、東海、中国、四国、九州の各地から96チーム（地元対馬からは47チーム）総勢594名の選手が参加しました。

この大会は、自然に恵まれた離島を舞台に、ゲートボールを通して離島及び本土が交流し、しまの活性化を図ろうと毎年開催されているもので、対馬では平成元年開催の第4回大会以来16年ぶり2回目の開催になりました。

競技初日の8日、会場の「グリーンピアつしま」では、開会式に続いて予選ラウンドが行われ、翌日の決勝ラウ

ンドへの出場権をかけて、4チームずつ24グループに分かれたリーグ戦を戦いました。決勝ラウンド進出を目指し、選手の皆さんは仲間のアドバイスに耳を傾けながら真剣な表情で競技していました。

競技2日目の9日は、決勝ラウンドへ駒を進めた24チームによるトーナメント戦が行われ、うち対馬勢は10チームが優勝をかけた戦いに挑みました。強豪がひしめく中、上県町女連の連友会は順調に勝利を重ね決勝へ進出。大島A（長崎県西海市）と対戦し、16対8のスコアで破れましたが、見事に準優勝を獲得しました。

全国・離島交流ゲートボール親善大会

【大会結果】

- 優勝 大島A（長崎県西海市）
- 準優勝 連友会（対馬市上県町女連）
- 3位 わかしお（佐賀県諸富町）、大島B（長崎県西海市）

敢闘賞 〃

- 銀杏（対馬市上対馬町琴）、緒方（対馬市美津島町緒方）、同好会（長崎県志岐市）、川崎大師神奈川県川崎市）

初村 直さん（厳原町）
グランドチャンピオンを獲得！
（第20回対馬和牛共進会）



初村直さんと「第五なみさかえ」

対馬市になって初めての対馬和牛共進会が、10月19日、豊玉町和板で開催、各町の予選会を勝ち抜いた23頭が出場して、「育成牛の部」等の4部門で体型や発育、繁殖能力などの審査が行われました。

結果は、現在31頭の牛を飼育中の厳原町久根田舎の初村直さん（70歳）が

牛を飼い始めて50年という経験を生かし、部門を超えて最も優秀な牛に贈られるグランドチャンピオンを初受賞。さらに、奥さんのトシ江さん（68歳）と共に、4部門中3部門で優勝を獲得するなど大活躍。うれしさに笑顔をほころばせていました。

主な審査結果は、次のとおりです。

【育成牛の部】

- 初村直（厳原）第四ひろか
- 神宮正芳（上県）第八とよみ
- 糸瀬幹生（上対馬）第五ことみ

【肥育素牛の部】

- 初村トシ江（厳原）晴也
- 西山清香（美津島）第十五光
- 波田達弥（豊玉）第一実

【未經産牛の部】

- 初村直（厳原）第五なみさかえ
- 阿比留光行（上県）ふじさかえ
- 中島武夫（豊玉）みちえ

【経産牛の部】

- 国分八洲悦（上対馬）ひめの
- 神宮正芳（上県）かえで
- 山上熊夫（豊玉）みつの

グランドチャンピオン

- 初村直（厳原）第五なみさかえ
- 準グランドチャンピオン

- 国分八洲悦（上対馬）ひめの

団体の部

- 厳原町 上県町 豊玉町 美津島町 上対馬町 峰町

（敬称略）

旭日単光章を受賞！

西川凌一さん（美津島町久須保）



笑顔の西川さん(中央)

元美津島町議会議員の西川凌一さんが、このたび高齢者叙勲(旭日単光章)を受賞し、10月21日、自宅で市長より伝達されました。

西川さんは、昭和22年から船越村議会議員として1期4年、船越村と雑知町が合併した後も、美津島町議会議員として昭和50年から2期8年にわたって在職され、地域の発展の為に大きく貢献されました。

西川さんは、大正6年8月9日生まれ、88歳。現在は奥さん、息子さん家族と共に計8人で暮らしており、毎日農作業をこなすなど、非常にお元気な様子。今回の受賞にたいへん感激され「みなさんのお陰です」と繰り返し感謝されていました。栄えある受賞を心よりお祝い申し上げます。

シンポジウム

「対馬の医療 今日と明日」開催される



10月22日、美津島町で対馬市主催のシンポジウム「対馬の医療 今日と明日」が開催され、対馬の医療の現状とこれからの対馬の医療をテーマに議論が繰り広げられました。

シンポジウムの第1部では、対馬が離島であることや病院の数、特に開業医が少ないこと、救急車を呼んでも距離が遠いため時間がかかることなど対馬特有の医療の問題点を、中対馬病院長らが医療現場の視点から数多く指摘。第2部では、今後の対馬の医療に望むものを主題に、対馬市長、離島医療圏組合の副会長らがそれぞれの立場で意見を述べました。

会場には、医療関係者を中心に約260名が参加。真剣な面持ちで議論に耳を傾けていました。

ボランティアではなく、プロとしての観光ガイド・インストラクター等の人材を育てようという「ながさき『しま自慢』観光カレッジ」が開校し、10月15日、第一回目の講座が美津島文化会館で行われました。

会場には、市内から100名を超える受講生が集まり、元NHKアナウンサーの松田輝雄さんの「心をつかむ話し方、インタビュアー術」をテーマにした講義を受けました。

松田さんは、言葉の正しい発音の仕方や言葉を伝えることの重要性などと共に、どうすれば対馬の観光が盛り上がるかについて約2時間にわたり講義を行いました。見た目のまじめな印象



講義を行う松田輝雄さん

観光のプロフェッショナルを育成！
しま自慢観光カレッジが開校

とはうらはらに、ユーモアまじりの講義に、受講者は時間を忘れて聞き入っていました。

このカレッジは、県下の離島、県、県観光連盟等で構成する「ながさき『しま自慢』観光人材育成協議会」が主催したもので受講料は無料。しまの活性化を担う人材を育成し、「仕事がない」「若い人が出て行く」といった離島が抱える問題の解決を目指すものです。

今後、観光ガイド、商品開発クリエイターなど5分野で講座や実践訓練が行われ、計7〜8回の受講を終了すると県認定の修了証書がもらえます。

受講者の「なんとか対馬を良くしよう」という熱意で、今後、対馬ならではの新しい仕事が生まれることが期待されます。



多くの受講者が集まりました